

#### 第 44 号様式別表 2 記載要領

- 1 この明細書は、地方税法（以下「法」という。）第 701 条の 34（事業所税の非課税の範囲）の規定の適用がある場合（法第 701 条の 31 第 1 項第 5 号において従業者から除かれる者がある場合を含む。）に第 44 号様式の申告書に添付すること。
- 2 印の欄は記載しないこと。
- 3 「個人番号又は法人番号」欄には、個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第 2 条第 5 項に規定する個人番号をいう。以下同じ。）又は法人番号（同条第 15 項に規定する法人番号をいう。）を記載すること。  
なお、個人番号を記載する場合には、左側を 1 文字空けて記載すること。
- 4 「算定期間」の欄は、課税標準の算定期間（以下「算定期間」という。）を記載すること。
- 5 ㊦の欄は、該当項目ごとにそれぞれの床面積（1 平方メートルの 100 分の 1 未満は切り捨てること。）を記載すること。ただし、事業所等の用に供する部分に係る共同の用に供する部分がある場合（別表 4 の共用部分の計算書が添付される場合）は、共同の用に供する部分の床面積に係る非課税床面積については記載しないこと。
- 6 ㊧の欄は、期末又は廃止の日現在における非課税に係る従業者数（法第 701 条の 31 第 1 項第 5 号において従業者から除かれる者）を該当項目ごとに記載すること。
- 7 ㊨の欄は、算定期間中に支払われた給与等の額のうち非課税に係る給与等の額を該当項目ごとに記載すること。